
令和５年度 第３回
川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会
議 事 要 旨

【日 時】 令和５年１０月２５日（水）１４：００～１５：１５

【場 所】 川口市役所第一本庁舎５階５０１大会議室

【出席者】

１ 委 員

田中委員（会長）、庄司委員（副会長）、松本委員、小巻委員、吉田委員、片山委員、森田委員、吉井委員、土田委員、高山委員、羽場委員

２ 事務局

坂本部長、森岡次長、大場課長、市村補佐、金子補佐、加藤補佐、神田補佐、半谷補佐、山路補佐、大橋補佐、今井主任、藤政主任

【日 程】

１ 開 会

２ 議 題

（１）次期計画素案について

（２）その他

３ 閉 会

【配布資料】

- ・第３回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 次第
- ・資料１ 障害者施策推進のための主要課題
- ・資料２ 川口市障害者福祉計画（素案）
- ・川口市障害福祉に関するアンケート調査報告書（１０月２０日時点）
- ・第２回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会議事要旨
- ・（仮）第３期川口市地域福祉計画の施策体系（案）

[議事要旨]

1 開 会

2 議 題

(1) 次期計画素案について

【質疑応答・意見】

(委員) 資料1の主要課題が、計画の重点施策や基本目標とどのように関連するのかわかりにくい。

(事務局) 検討して整理する。

(委員) 1点目、主要課題(2) 合理的配慮の推進の合理的配慮がわかりにくい。合理的配慮は生活場面や働く場において障害があることで不利益を被ることがないように、障害特性に応じた配慮だとすると、親亡き後の生活拠点の整備に向けた取組は、話題が広すぎるのではないか。

2点目、主要課題(3) の表題をインクルーシブ教育・保育の充実とするとよいのではないか。共生社会実現に向けての優先課題として、特別支援教育コーディネーターや発達支援サポーターなど福祉分野以外にも視野を広げた上で、福祉分野としての課題設定をするとよりよいのではないか。

3点目、主要課題(4) は相談支援と情報アクセシビリティを分けた方がよい。相談支援は、支援すべてに網羅的に関係するものである。情報アクセシビリティの課題としては、ICT や手話、その他のコミュニケーションツール及び意思決定支援の取り組みの充実、コミュニケーションに関わる支援として重要と考える。

4点目、主要課題(6) 生活支援員等という記載は市民にわかりにくい。ヘルパー、もしくは支援員と直接的な介護や支援に携わる人という表現としてはどうか。

5点目、主要課題(7) 介助者の負担軽減に向けた支援の充実の書き出しの箇所を、多くの障害者ではなく、多くの障害児・者にした方がよい。

6点目、計画素案の第3章重点施策「将来にわたる安心施策」と基本目標との関連が見えにくい。素案14ページの施策の体系図の中に位置づけてほしい。

7点目、素案の基本的な考え方はわかりやすいが、基本目標や施策の展開方法に十分反映されているとは言えない。一般の教育や保育に加えて障害者という書きぶりになっていないと感じる。施策の展開において基本的な考え方が十分反映されているか吟味してほしい。

8点目、素案のライフステージに応じた支援はわかりやすい。

9点目、暮らしの場の確保という項目を、素案の施策の体系の2-2の後に差し込んでよいのではないか。

(委員) 1点目、フレイルやアクセシビリティの充実などの言葉が、共通言語になっているかを吟味して、共通言語になっていなければ、注釈を添える方がよいのではないか。

2点目、主要課題(6) 生活支援員等の人材確保及び質の向上に関して、研修の主体がはっきり記載されていない。また、事業所の誘致と記載するにあたっては、専門性の高さを確保できるような市としての施策を吟味して加えた方がよいのではないか。

3点目、主要課題(12) 公営住宅やグループホームの整備は、量だけでなく質の確保と

担保の視点も重要である。

4点目、素案2ページで市の動向とあるが、国や県の動向に対して、市の特性とあってもよいのではないか。福祉的な観点だけでなく、片親や外国人が多くなっているなど市の特性から政策を作るという方向性もあるとよいのではないか。

5点目、基本目標2の2つ目は、自分らしい生活を自らの意思で選択できるということが、自立を促進すると捉えてよいのか。

6点目、素案のライフステージの支援の箇所、説明文と体系図の整合性を付けた方がよい。図には記載があるが、説明文に書かれていないものがある。

7点目、重点施策1障害者と家族の高齢化への対応に関して、掲載されていない内容として、待機者の実態と解消に問題意識を持っている。実態調査をした上で、政策に反映していく必要があるのではないか。また、自立を見据えた生活支援の充実で、重度の知的障害がある人が長期にわたる家族依存による支援が継続して行われている。地域課題としてうたうことが大事なのではないか。

8点目、重点施策4インクルーシブ教育に関して、教職員の充実だけでなく、受け入れ側の在校生やその家族への教育や啓発をしていかないと、実際には異物として扱われてしまうので、中身を精査した方がよいのではないか。

(委員) 様々な意見を頂戴したので、事務局で精査して、次回に向けて活かしてほしい。

(事務局) 5点目、質問の箇所に関して、本人が選択して生活を決めていくという意味決定の部分を尊重するもので、委員の理解のとおりの内容となっている。

(委員) 主要課題において、末尾に求められますという表現が随所に見受けられ、理解に苦しむが、どの程度のものと考えたらよいのか。

(事務局) 今回掲載したのは、アンケート結果から導いた課題として市に求められているということである。

(委員) アンケート結果から求められていると記載した上で、どのように実施していくのか市の方向性を示してほしい。

(事務局) 表現だけでなく、主要課題を受けて基本理念を実現するためにどうしたらよいかも整理し直し、わかりやすくしていきたい。

(委員) 基本目標3社会参加の充実に関して、川口市においてスポーツや文化芸術活動はどのように目標を達成していくのか。

(事務局) スポーツ大会の参加促進や参加支援、公民館の施設における学習活動環境の提供、市の行事の障害者週間記念事業で芸術活動をしている方の作品を発表する機会を設けるといった支援を考えている。

(委員) 一般の方に交じって障害者も可能な限り参加できるよう市として広報してほしい。

(委員) 主要課題15 災害時要配慮者対策の充実について、避難するときのことだけでなく、避難した後の支援についても記載されていてとてもよい。同様に基本目標6 障害特性でも障害特性に配慮した防災・防犯対策とあるので、その箇所にもその後の対応について記載があるとよいのではないか。

(委員) 発言がまだの方もひとりずつお願いしたい。

(委員) 重点施策3 障害者の雇用・就労支援の施策の展開の障害者就労支援センターの充実について、現状は利用者が多くて支援が行き届いていない。ハローワークの立場として、改め

て重点を置いていただくようお願いしたい。

(委員) 重点施策4 障害の有無に関わらず共に学び成長する子ども条例に基づく取組の施策の展開において、従来であれば公平という考えの前提に、普通学級の中での公平、特別支援学級の中での公平と仕切りがあったが、その枠組みを取り払って幼少期からインクルーシブ教育の中での公平性を掲げて携わってほしい。

(委員) 精神障害者の 8050 は 9060 に差しかかっている。また、人材不足も長期化している。文章では表せないこともたくさんある。

(委員) 主要課題 14 保健・医療体制の充実の3段落目は、法改正に基づいているものなので、求められるという書き方をしてしまうと、先ほどのアンケート結果から市に求められるという表現と同じになり、わかりにくいのではないか。

(委員) 入所施設、保育園を運営していて、受け入れ側が全く十分でない。また、日中活動の職業訓練も、職員が残業して納期を守る状況になっているなど、課題が山積している。

(委員) 主要課題を基本目標のところに落とし込むこと、総合計画や地域福祉計画など、各個別計画との連動性、整合性が取れるよう引き続き作成してほしい。

(委員) 次回は、第4章以降、サービス量の議題になる。資料によく目を通した上で、議論していきたい。

(2) その他

事務局より、次回の予定について連絡があった。

3 閉 会

以 上